

2026.4.17  
良好な環境の観光利用

# 観光とリジェネレーション

*Tourism & Regeneration*

和歌山大学観光学部 特任教授 加藤久美  
大阪観光大学客員教授・学長アドバイザー  
クイーンズランド大学客員教授  
グリフィス大学客員研究員  
大阪大学協同研究員

環境省中央環境審議会（公園等小委員会・水制度・環境部会）委員

ISA 国際社会学会 RC50(観光) 共同代表      PATA（太平洋アジア旅行協会）理事  
Sustainability Institute代表      EarthCheck Research Institute 研究員

## 観光反対運動

*Anti-tourism movements*

(The Telegraph, 2024.7.7)



# 閉鎖・規制・入域料



《St Martin 島の閉鎖》（バングラデシュ）海環境保全のため。来訪者規制（2000人、2025.12-2026.1）、プラスチック禁止



《ボラカイ島の閉鎖》2018年4.26~6ヶ月。2017年来訪者：372万人。1/3 全訪問者、観光収入の20% 195施設、住宅4,000の多くが下水道インフラに接続されていなかった。環境基準を満たす事業者：70/600事業

バルセロナ、グエル公園行きバスルート Google map から削除



千年先も、  
いつくしむ。  
**宮島**  
MIYAJIMA

「千年先も、いつくしむ。」  
プロジェクトムービー



宮島 <https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/uploaded/attachment/67060.pdf>

The Guardian (2024.4.16) <https://www.theguardian.com/world/2024/apr/16/barcelona-bus-route-removed-map-apps-tourist-overcrowding-park-guell>

The Guardian (2024.4.26) <https://www.theguardian.com/world/2024/mar/08/kyoto-geisha-district-tourist-ban-gion>

CNN (2023.9.10) <https://www.theguardian.com/world/2024/mar/08/kyoto-geisha-district-tourist-ban-gion>

# 急激な成長 → 課題

## 2019年-10年連続で持続的成長



**+4%** 14億6千万人  
国際観光客到着数合計

**+3%** 1兆4,810億米ドル  
国際観光収入合計

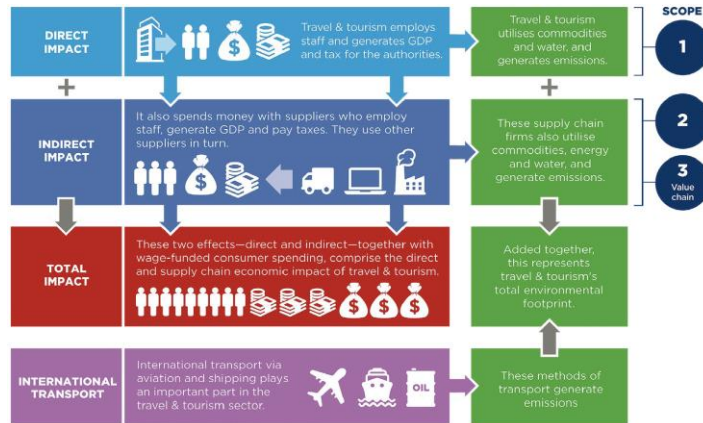


2009年から2019年までの国際観光収入の実質的な成長率(54%)は、世界のGDPの成長率(44%)を超えた。

(UNWTO TH, 2020, 2019, 2018)

## 気候変動・環境危機への対策

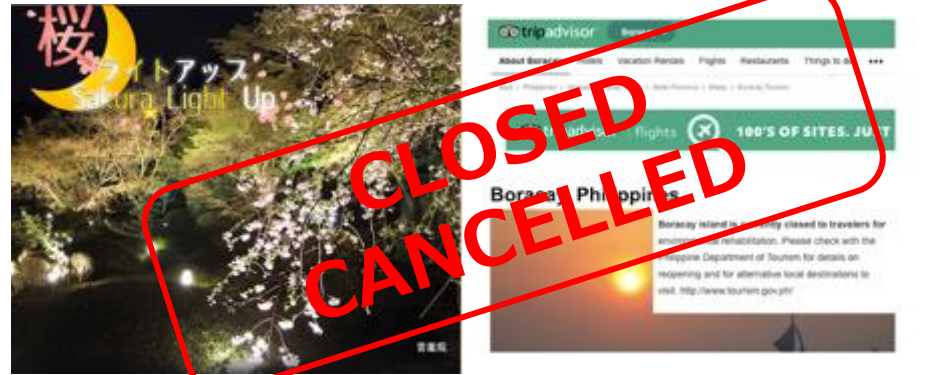
- 排出量 8% (うち交通75%)
- エネルギー10.6% 水 5.8% 資源消費8%
- 土地利用の変化、汚染、乱獲～生物多様性への影響 (WTTC, 2023; UNWTO,2008)



(UNWTO, 2019, 2008)

## マネジメントの重要性

### \*オーバーツーリズム\*



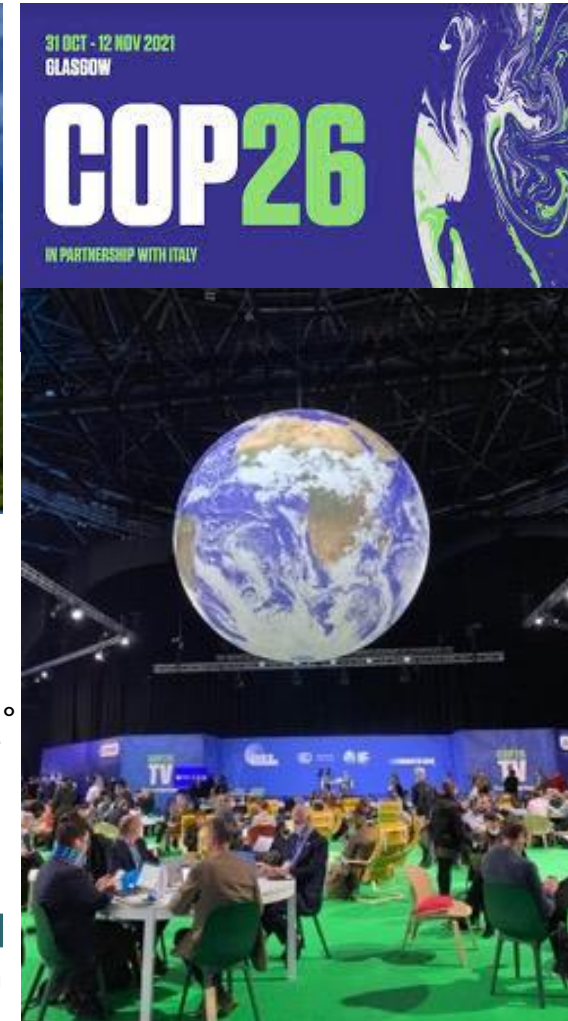
# 観光産業における気候変動対策に関するグラスゴー宣言

UNWTO UNEP VisitScotland TourismDeclares Tourism Foundation



## 2030年までに半減、遅くとも2050年実質ゼロを目指す

効果的な気候変動対策を実現するために、すべてのステークホルダーを束ねて観光産業を変革するという共通のコミットメントを宣言する。2030年までに排出量を半減させ、2050年までに可能な限り早期に**実質ゼロ**を達成するという世界的なコミットメントを支持する。2100年までに産業革命前比で、気温上昇を1.5°C以内に抑える目標を達成するために、最新の科学的提言に基づいて行動する。



UNWTO Side events at the COP27 UN Climate Change Conference



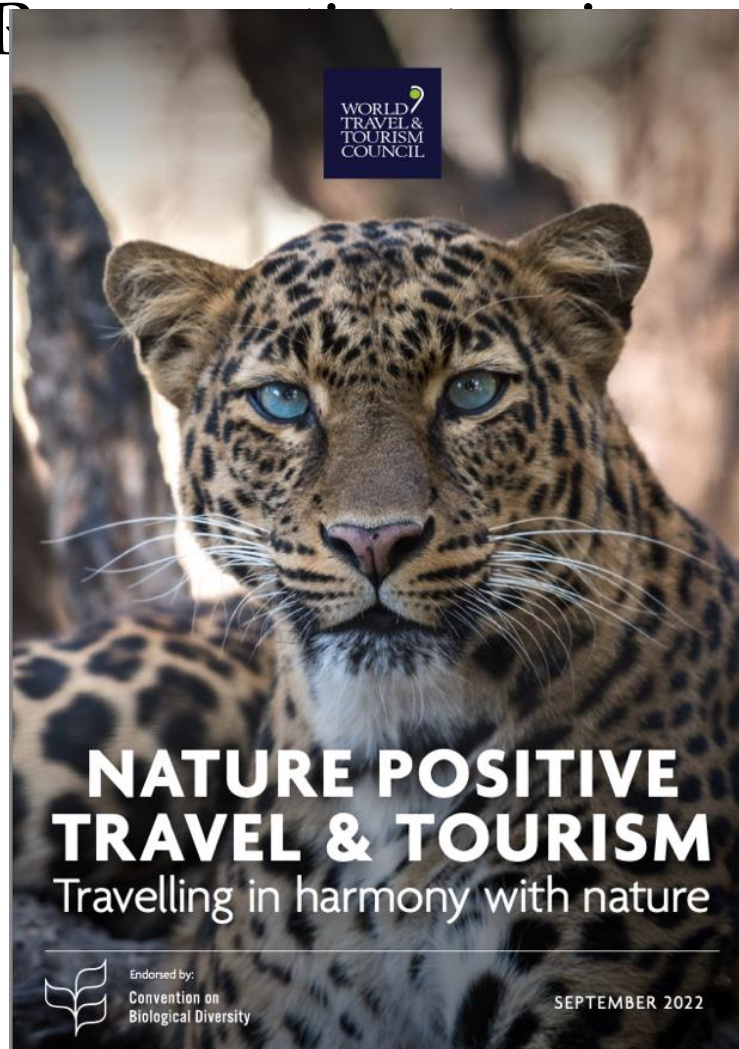
COP28 UAE

Tourism at COP28 – Delivering on the Climate Action Commitments of the Glasgow Declaration



COP29 Declaration on Enhanced Climate Action in Tourism

生物多様性喪失の原因：土地・海洋開発、資源利用、気候変動、汚染、外来種



## What should tourism do?

1. エネルギー消費の削減
2. カーボン排出削減
3. 水消費の削減（リサイクル、雨水利用）
4. 使い捨てプラスチックの削減
5. オフィスやデスティネーションの緑化  
グリーンウォール、屋上庭園、生物多様性向上の工夫
6. サステナビリティ認証商品の購入
7. サステナブルなローカルサプライヤーからの調達
8. 野生動植物の悪用、不法な取引
9. 地域主導の保全活動支援
10. ネーチャーポジティブな取組団体との連携

**S**pecific 明確な指標や目標値がある

**M**easurable 計測可能

**A**ttainable 達成可能

**R**ealistic 現実的

**T**imebound 達成までの時間が明確



庭のホテル <https://www.sankei.com/article/20230715-UTE3EUGLMZMN3JT7Q2CDOS462I/>



Hotel Raphael (Roma) - vertical garden  
<https://www.google.com/search?client=safari&rls=en&q=hotel+raphael+roma&ie=UTF-8&oe=UTF-8>

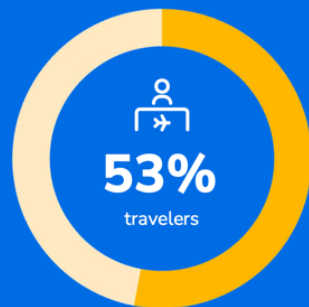


WTTTC Nature Positive Travel & Tourism  
<https://wttc.org/Portals/0/Documents/Reports/2022/Nature-Positive-Travel-And-Tourism.pdf>

# 訪問地域への配慮

## Report Reveals Growing Traveler Awareness of Tourism Impact on Communities Both at Home and Abroad

Booking.com first conducted research on consumer attitudes about traveling more sustainably in 2016. Since then, we have surveyed nearly **230,000 travelers across 35 markets**. The latest data from 2025 shows a shift in traveler perceptions of what sustainability encompasses.



For the first time, more than half of travelers **(53%)** are now conscious of tourism's impact on local communities as well as the environment.

観光が地域に与える影響を意識する  
53%

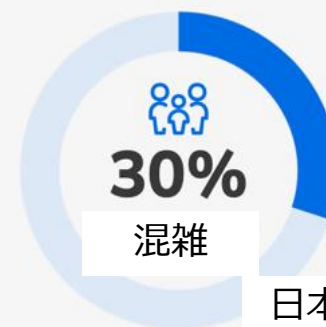
### Areas of concern include:



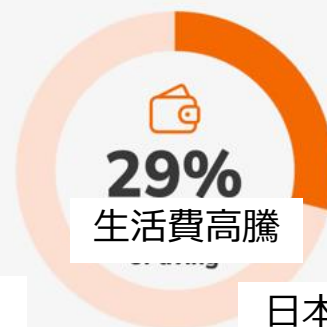
日本 38%



日本 37%



日本 36%



日本 17%

- よりサステナブルに旅行することが重要 (世界84% 日本69%)
- サステナブルな旅の選択をしたい (世界93%, 日本85%)
- 使ったお金が地域コミュニティに還元されてほしい (世界73% 日本63%)
- 地域を来たときよりも良好な状態にして帰りたい (世界69% 日本59%)
- 「地元ビジネスの支えになっている」と感じる (世界54% 日本18%)
- 現地の文化を代表する本格的な体験をしたい (世界77% 日本57%)

### 《地域課題の解決》

- 観光客数の制限 (世界16%、日本15%)
- 地域コミュニティへの投資
- 交通の改善 (世界38%、日本35%)
- 廃棄物管理 (世界37%、日本19%)
- 環境保全 (世界32%、日本21%)

Booking.com Sustainable Travel Report 2025 (34カ国32,000名の回答者 18才以上で直近12ヶ月で一回以降旅をしている、または計画している、意思決定の立場にある。

<https://news.booking.com/download/487ae9ae-97ef-4f66-b368-3b71787677b6/2025travelampsustainabilityreport-booking.com2.pdf>

## 【京都市 観光客の動向等に関する調査】

日本人観光客 持続可能な観光に対する意向調査 (P.40)

令和3年から開始!

旅行中はなるべく徒歩, 自転車, 公共交通を使いたいと考えている観光客の割合 **56.0%**

文化や文化財の維持に貢献したいと考えている観光客の割合 **40.5%**

訪問先の地域を思いやる行動を取られた観光客の割合 **71.8%**

環境に配慮した行動をされた観光客の割合 **89.0%**

飲食・買い物の際に京都産の食材や商品を選ばれた観光客の割合 **73.0%**

### 【訪問地域を思いやる行動】

- ゴミを持ち帰る
- マナーを守る
- 観光地・地元生活者への配慮
- 環境への配慮
- 公共交通機関を利用する
- 観光地になるべくお金を落とす
- 自転車や徒歩で移動する

区分	全体	性別		年齢別					
		男	女	～19歳	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～
ゴミを持ち帰る	36.4	40.0	34.2	33.3	9.5	30.4	29.0	31.6	42.5
マナーを守る	12.0	10.6	13.0	0.0	19.0	15.2	11.5	11.0	12.2
観光地、地元生活者への配慮	10.9	10.6	11.1	0.0	23.8	18.2	10.6	15.6	7.6
環境への配慮	7.5	8.7	6.8	66.7	14.3	3.0	12.5	8.1	5.4
公共交通機関を利用する	3.3	2.6	3.6	0.0	0.0	3.0	3.8	5.8	2.2
観光地になるべくお金を落とす	2.4	3.0	2.0	0.0	0.0	3.0	2.9	3.5	1.9
自転車や徒歩で移動する	2.3	2.6	2.0	0.0	4.8	0.0	3.8	3.5	1.1
自然や文化財を大切にす	1.8	3.0	1.1	0.0	4.8	0.0	1.9	1.2	2.2
特になし	6.9	4.9	8.2	0.0	9.5	3.0	4.8	5.8	8.4
その他	16.5	14.0	18.0	0.0	14.3	24.2	19.2	13.9	16.5

### 【京都観光・MICE振興計画2030】(2026)

#### 環境負荷低減

環境に配慮した行動を取った観光客の割合  
(日本人:R3～、外国人:R5～)

日本人(R3) 89.0% 日本人(R6)

外国人(R5) 79.1% 外国人(R6)

環境に配慮した取組を行っている事業者の割合(R7～)

(R7) 74.1% (R7)

# 観光

破壊・疲弊



恵（豊かさ）

- 訪問客
- 事業者
- 地域住民
- 環境
- 未来世代

光とは

見るのは

責任は



οἶκος (Greek) - house

- 環境負荷を最小限に
- 地域社会・経済への利益を最大限に
- 地域の文化・生活を重視
- 観光客の満足度を最大限に(Hetzer, 1965)

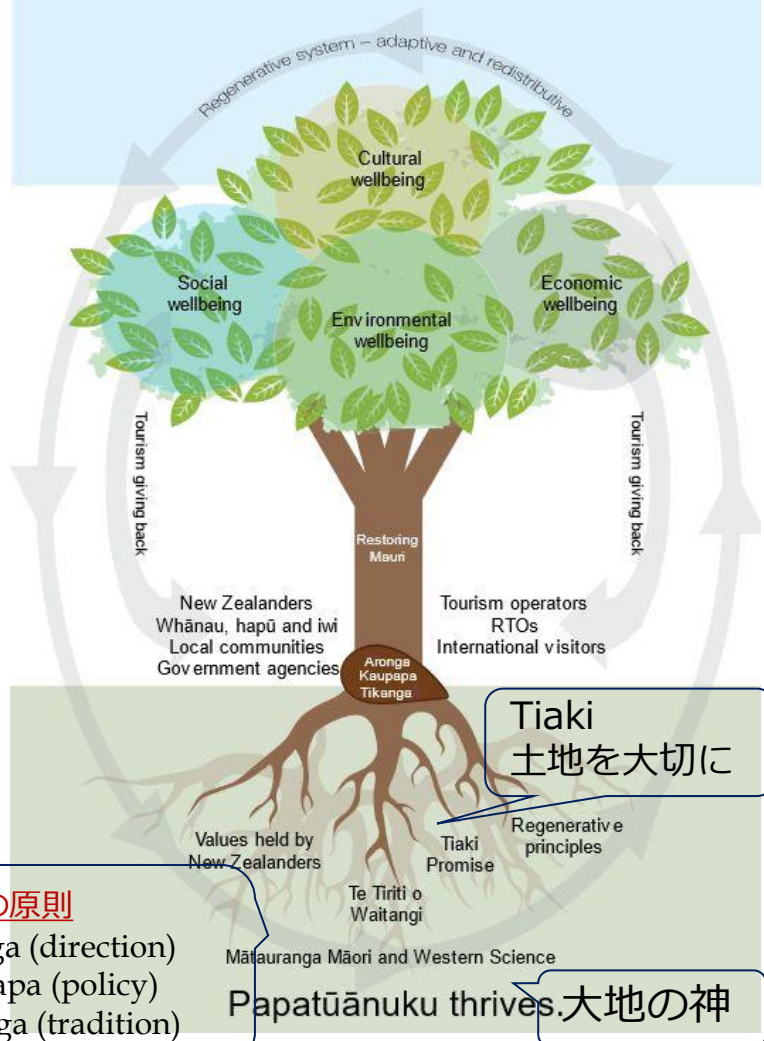
学び、感動、楽しみを目的とした、自然地域への責任ある訪問。環境を守り、地域社会の生活をより良くすることを趣旨とする。 TIES: The International Ecotourism Society, 1990; (Ceballos-Lascurain, H. 1987. 'The future of ecotourism', Mexico Journal, 13-14.)

DESTINATION (訪問地域) 全体への広がり  
地域・住民・環境・事業者

訪問客、業界、環境および受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在および未来の経済、社会、環境への影響を十分に配慮した観光  
*Tourism that takes full account of its current and future economic, social and environmental impacts, addressing the needs of visitors, the industry, the environment and host communities" (UNWTO)*

Three pillars of Sustainable Development (The United Nations 2005 World Summit Outcome Document)  
<https://unfoundation.org/blog/post/the-sustainable-development-goals-in-2019-people-planet-prosperity-in-focus>  
JICA mundi, No. 58 (July 2018) • UNWTO(2017) <https://www.e-unwto.org/doi/pdf/10.18111/9789284417254>

Tourism gives back more than it takes.



(NZ観光政策)

## リジェネラティブ (再生・創出) 観光 Regenerative tourism

リジェネレーション = 再生・回復・創出

- 心身の健康 (癒し・楽しみ・幸せ)
  - 良好な環境
  - ✓ 誰もが参加できる (役割・責任)
  - ✓ 地域・環境への還元・思いやり
  - ✓ より豊かにする (アクション)
- 
- 農業が「人間と生態系の健康を育む」ためのものであるのと同様、観光・旅行も「目的・意味のある、冒険・探求という本来の意味に戻るべき」 (Ateljevic, 2020, p473)
  - NZ観光政策：パパトゥアヌク (大地の神) を基盤とする3つの原則 (概念) と基礎方針 (Tiaki)

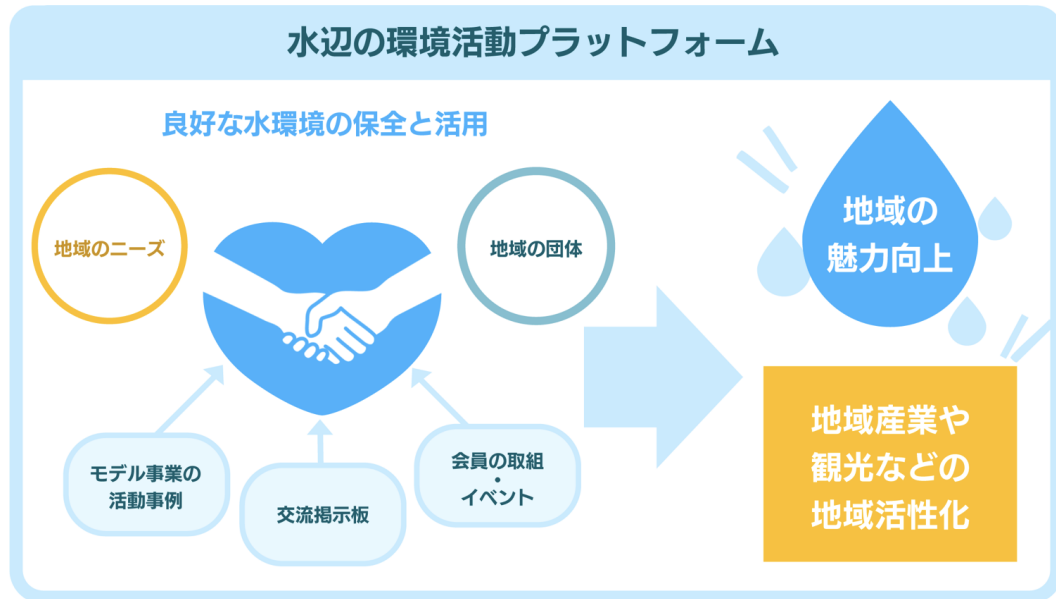
現在及び将来の国民一人一人の生活の質、幸福度、**ウェルビーイング(高い生活の質)**、経済厚生の上  
(第6次観光基本計画, 2024)



Becken, S. & Kaur, J. (2022) Anchoring tourism value within regenerative tourism. A government perspective. *Journal of Sustainable Tourism*, Vol. 30, 52-68.

Crabolu, G., Torres-Delgado, A., & Riberiro, A. (2026). DMO: envisioning a regenerative tourism operating model. *Journal of Sustainable Tourism*

# 環境省「水辺の環境活動プラットフォーム」



**良好な環境を活かした地域づくり** 水環境の保全と活用に関する活動をご案内しています。



## 良好な環境

豊かな水辺、星空、音の風景等、  
地域特有の五感で感じる自然や文化

<https://policies.env.go.jp/water/waterside-environment/>  
<https://policies.env.go.jp/water/good-environment-tourism/>

# 良好な環境を活用した観光事業



**1 北海道 大樹町・広尾町**

北海道南十勝の自然共生サイト・OECMと国立公園を対比しながら日本の自然観を親と感じ取るエコツアーの多言語対応化  
(事業者：一般財団法人史春森林財団)

**2 岩手県 大槌町**

海と共生するまち・大槌～環境再生型観光モデルの創出～  
(事業者：特定非営利活動法人おつちのあそび)

**3 大阪府 阪南市**

「海と山が出会うまち」はんなり森里川海プロジェクト  
(事業者：阪南市)

**4 兵庫県 豊岡市**

人とコウノトリが共生するまち・豊岡リジェネラティブな旅～Regenerative journey to discover the stories of the storks～  
(事業者：一般社団法人豊岡観光イノベーション)

**5 岡山県 真庭市・備前市・笠岡市**

岡山県広域里山・里海学習体験型コミュニティプロジェクト「OKAYAMA SATOYAMA-SATOUMI UNIVERSITYプロジェクト」  
(事業者：一般社団法人北房観光協会)

**6 愛媛県 西条市**

「水の都西条」の未来につなぐ水資源 高付加価値化と環境保全還元モデル構築プロジェクト  
(事業者：株式会社のどか荘暮らしの設計室・hinel)



**取組の成果 (大宜味村)**

- ◎生物調査・合同現地視察
  - ・現状が徐々に明らかになり、ター滝の複雑な状況を地権者である大宜味村と共有できたことで、今後のモニタリング（保全・安全・活用）への理解が進んだ。
- ◎先進地視察
  - ・先進地の知見を得て、フィールドを管理しながらすべての来訪者へのインタプリテーションについて必要性についての理解が深まった。
- ◎ガイドング講習
  - ・川の楽しみ方と安全確認のあり方について、ガイド事業者よりアドバイスを頂き、実際の来訪者の行動について理解を深めた。得られた成果は「水の里山歩きプログラム（すべての来訪者が川に親しむためのモデルプログラム）」として、ター滝インタプリテーションへ反映させる。



**8 鹿児島県 指宿市**

指宿海域の自然共生サイトの活用と持続可能な観光モデルプロジェクト  
(事業者：山川町漁業協同組合)

**9 鹿児島県 龍郷町**

～100年後も続く観光と自治～リジェネラティブツーリズム創出事業  
(事業者：一般社団法人E'more秋名)

**10 沖縄県 大宜味村**

「飲水思源」～やんばるの水に親しみ、その源に思いをはせる～  
(事業者：一般社団法人大宜味村観光協会)

観光庁 Japan Tourism Agency  
持続可能な観光推進本部 (2018.6.18)

*Sustainable Tourism Promotion Office* (2018.6.18)

持続可能な先進国に向けて (2019.6.12)

*Towards an advanced nation in sustainable tourism*

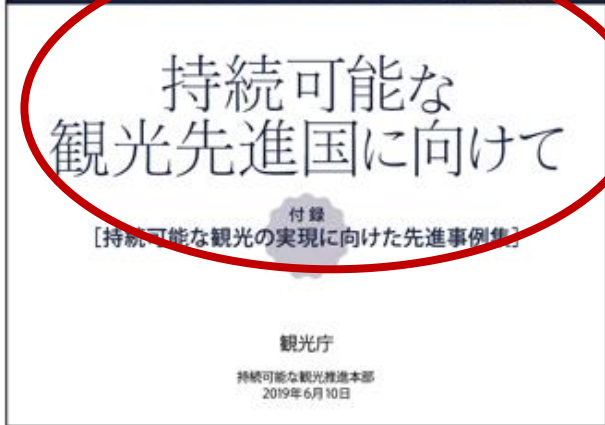
(JTA, 2019.6.12)

持続可能な観光ガイドライン(2020.6.29)

*Japan Sustainable Tourism Standard for Destinations*

### 観光立国推進基本計画

- 持続可能な観光地域づくり
- 消費額拡大
- 地方誘客促進 (2023.3.31)



### 4分野 (47項目)

- A マネジメント(16)
- B 社会経済のサステナビリティ(8)
- C 文化のサステナビリティ(8)
- D 環境のサステナビリティ(15)



国土交通省  
**観光庁**

発行：観光庁・UNWTO 駐日事務所



<https://sustourism.net>

[https://www.mlit.go.jp/kankocho/news08\\_000281.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/news08_000281.html)

[https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics08\\_000126.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics08_000126.html)



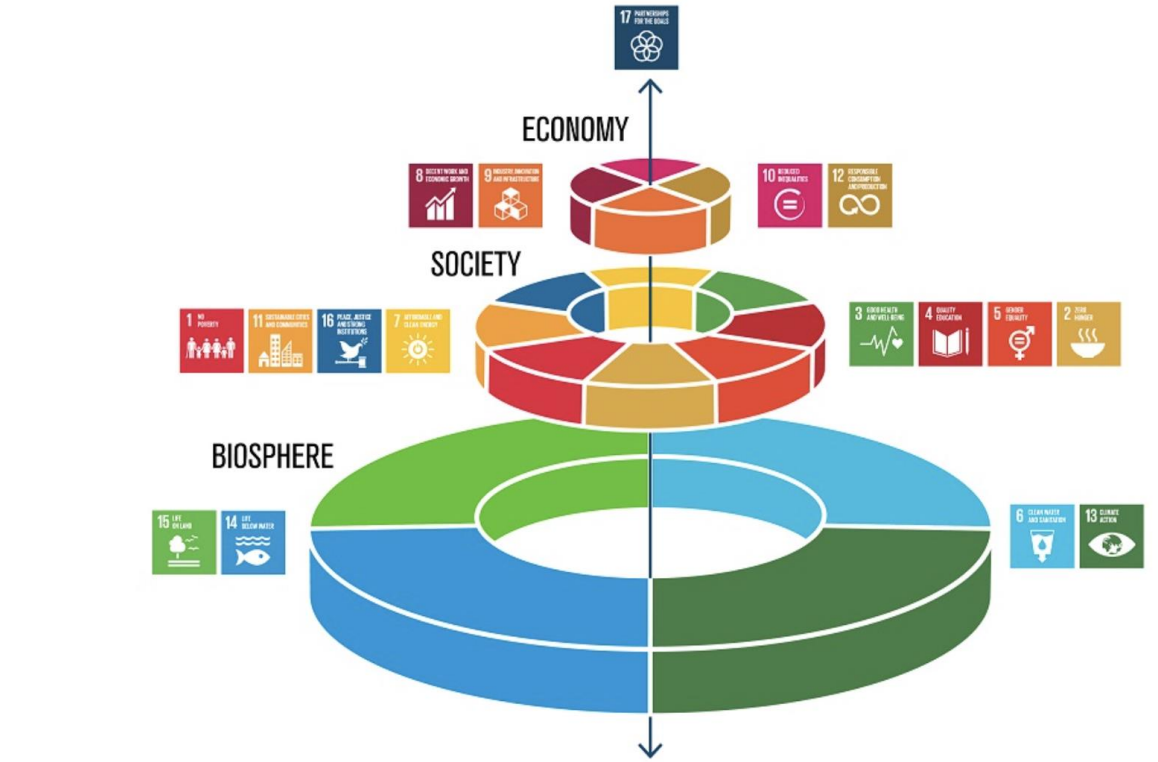


日本版持続可能な観光ガイドライン

発行：観光庁・UNWTO駐日事務所



国土交通省  
**観光庁**



credit: Azote Images for Stockholm Resilience Centre, Stockholm University



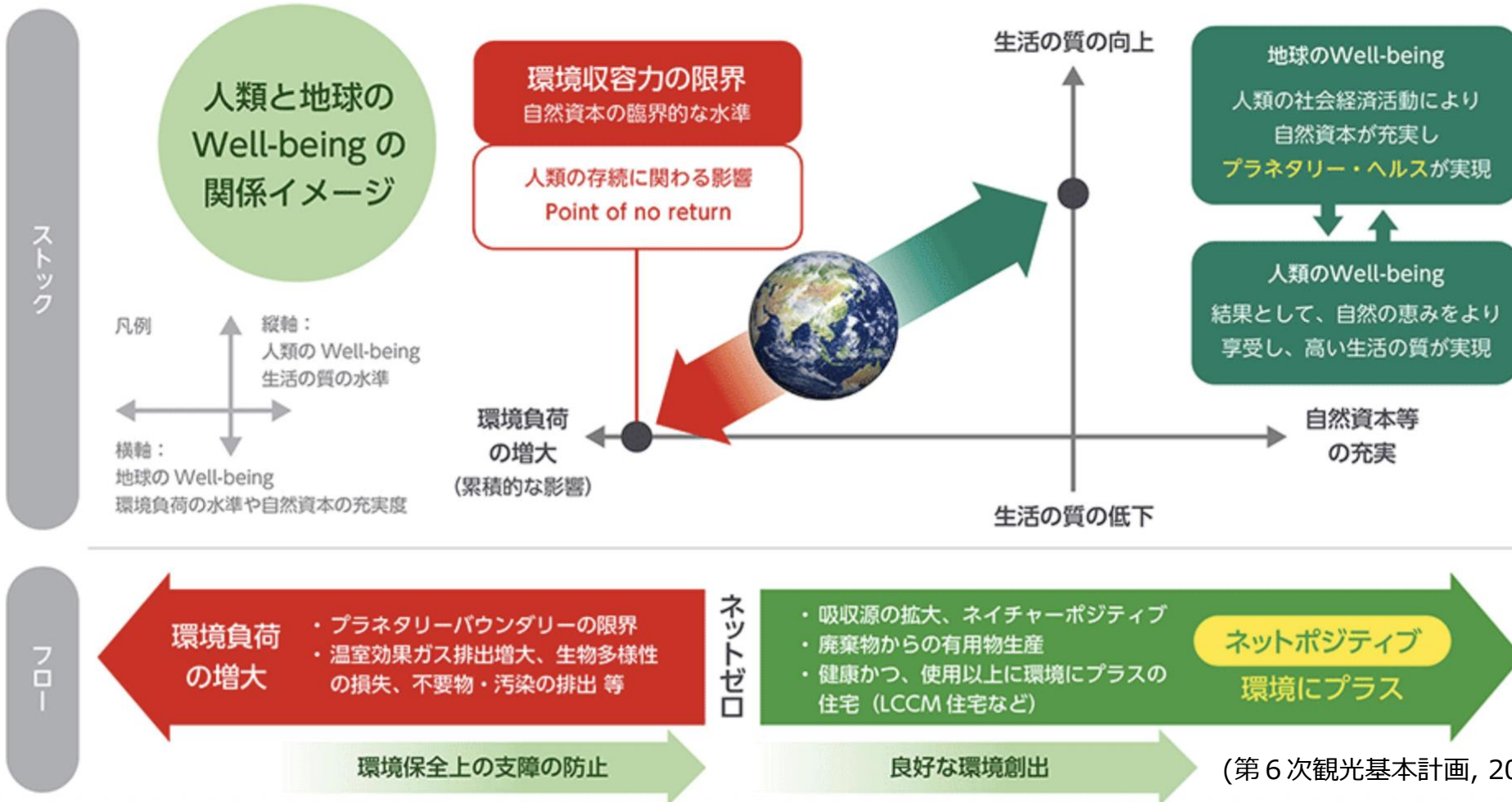
<https://sustourism.net>

[https://www.mlit.go.jp/kankocho/news08\\_000281.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/news08_000281.html)

[https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics08\\_000126.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics08_000126.html)

図1-2-3 自然資本・環境負荷とウェルビーイング・生活の質との関係（イメージ）

環境負荷を低減し、ストックとしての自然資本を充実させることが Well-being の向上につながると考えられる。



デスティネーション  
ウェルビーイングを  
高める観光  
*Tourism promoting  
destination wellbeing*

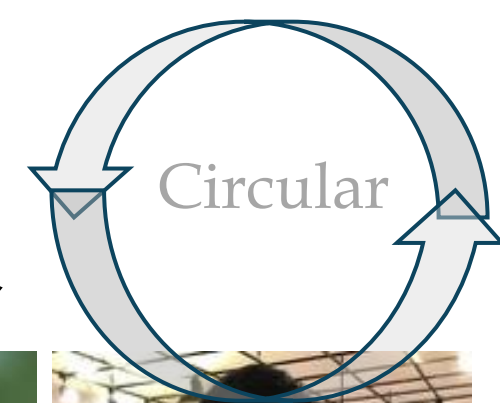


(第6次観光基本計画, 2024)



リジェネレーション  
のための観光

*Tourism for  
Regeneration*



# 地域資源の保全～水めぐり：伝統産業・信仰・地域社会



大洲 [https://jp.visitozu.com/sustainable/ozu\\_refeel\\_water?wovn=en](https://jp.visitozu.com/sustainable/ozu_refeel_water?wovn=en)

竹原 <https://www.fujiishuzou.com/>

木島平（山水元神社 <https://kijimadaira.org/article/detail/interview/nagasaka-takayori/>

松本 <https://visitmatsumoto.com/article/yusuimeguri>

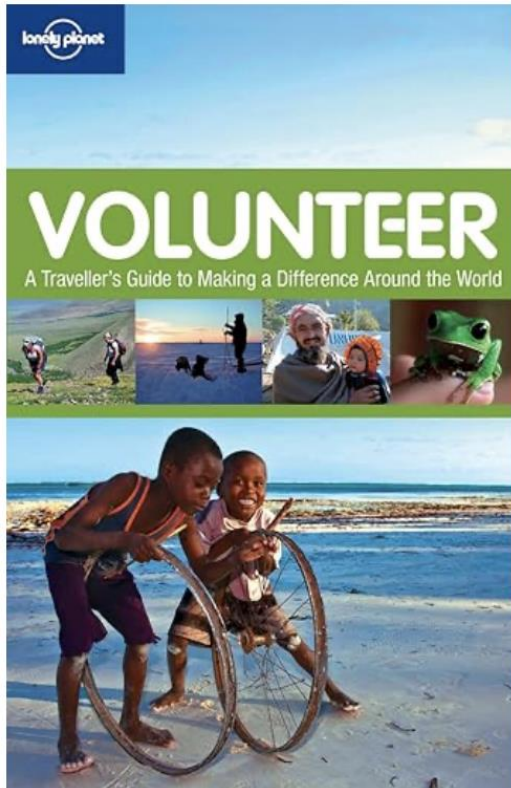
西条うちぬき <https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/meisui/data/index.asp?info=77>

滑床溪谷 <https://naturepreneur.jp/nature-preneurs/526/>

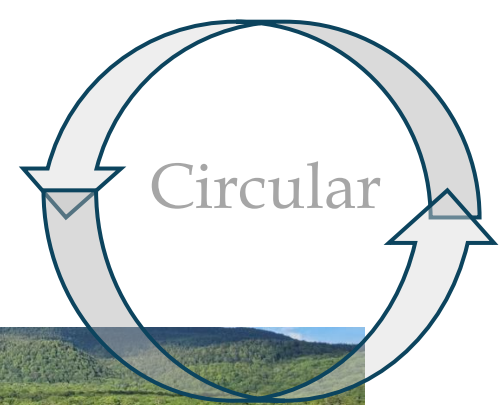
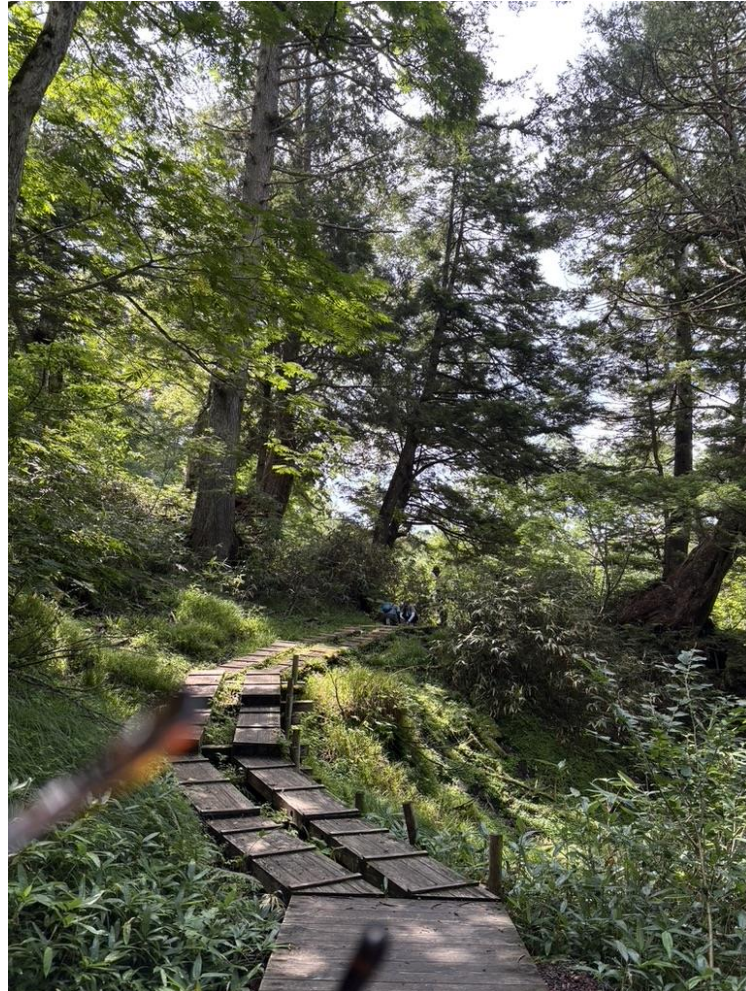
Phare <https://pharecircus.org/>

## 貢献活動

- 雪かき（知床）
- 道普請（熊野古道）
- 木道補修（尾瀬）
- 調査・協力



公益財団法人  
**尾瀬保護財団**  
Oze Preservation Foundation



「環境省の国立公園ならではの宿泊施設に係る試行的取組の一環として行う」

## 木道修繕ボランティア募集 定員20名

見晴地区から段小屋坂の木道滑り止め「桟木打ち」を実施



木道の課題を知る



仲間と一緒に直す



特別な参加特典

### 実施内容

#### イベントの流れ

- 尾瀬小屋メールにイベント予約
- 当日朝9時に尾瀬小屋集合・注意事項説明
- 9時半作業開始/12時昼食/15時作業終了
- 16時尾瀬小屋解散（参加特典配布）
- 各自山小屋宿泊
- 翌日自由行動

#### 募集要項

- 交通費・山小屋宿泊代は参加者負担です。
- 事故や怪我に備え各自保険の加入が必要です。
- 参加者にはおにぎり弁当を支給致します。

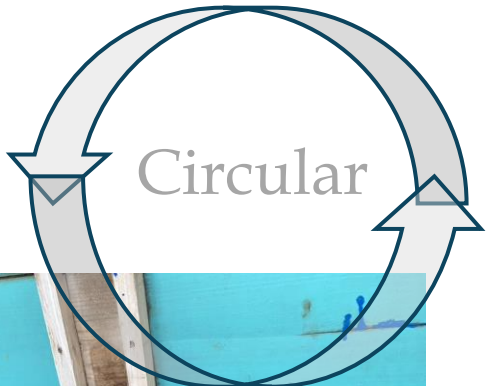
#### ご応募/お問合せ

主催：尾瀬小屋 協賛：檜枝岐村・三条印刷株式会社  
MAIL：ozegoya.1957@gmail.com  
TEL：090-6254-2002  
メールに桟木打ちボランティア参加と明記し、氏名/  
人数/ご連絡先/保険加入の有無をご記載下さいませ。

# 道普請 (熊野古道)



2023.4.21 中辺路



# ビーチクリーン (与論島)



与論  
南の島への憧れ~沖縄  
返還前 Pop. 5053  
• ピーク150,000 (1970)  
• 最低：50,000 (2012)  
• 観光協会 1965



# 星空ツーリズム(与論島)

- 星空（平等な地域資源）への注目

## 《課題》

- マリンレジャー以外、閑散期のコンテンツ開発
- 限定的アクセス（飛行機・フェリー）
- 若者の雇用機会

## 《星空への注目》～平等な地域資源、初期投資不要

- 図書、ワークショップ、島唄・伝説等の掘り起こし
- 星空案内人（ガイド）70名（人口の1%）
- 「暗い夜」推進（野外照明、自販機）



Green Destinations  
TOP100 stories



星のソムリエ認定制度

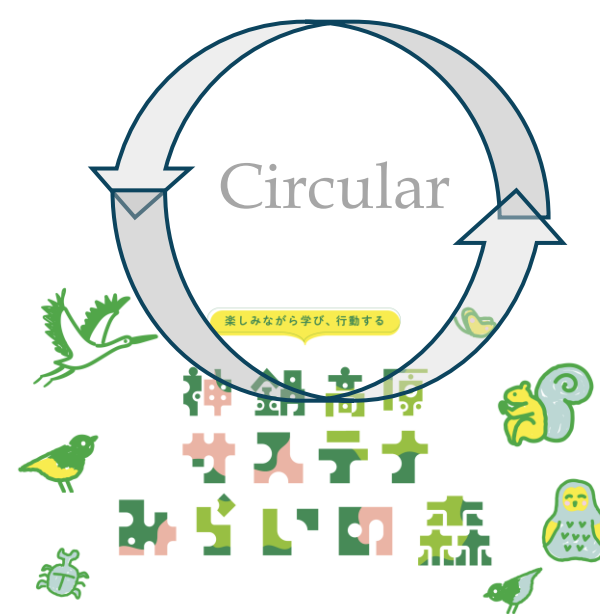
<https://www.yorontou.info/experience/7233.html>  
<https://greendestinationsjp.org/top100-2023-yoron-island/>

## 気候変動ツアー（豊岡市神鍋高原）

- こうのとりに育む農法
- 全食「プラントベース」（事業者連携）
- わさび農園（気候変動と農業）
- 自然共生サイト
- コウノトリの郷公園（保護センター）
- 「みらいの森」ボランティア活動
- 二重窓（断熱）ワークショップ
- 地域交通（EV車、地域バス）(2024.10.23-25)

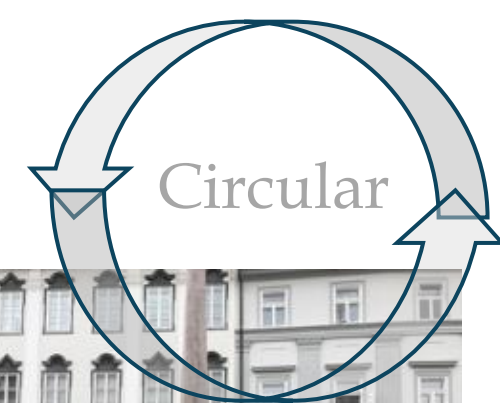


神鍋高原  
ゆきみらい100年宣言



<https://hidaka.kannabe.info/information/> 気候変動x観光について考える神鍋高原-vol-4-行動/

# 車ゼロ、EV, サイクル、水、植林~の好循環



## リュブリャナ (スロベニア)

Ljubljana, Slovenia

人口28万人 (スロベニア200万人)

- 2002~2012
- 車52%増加、公共交通機関26%減

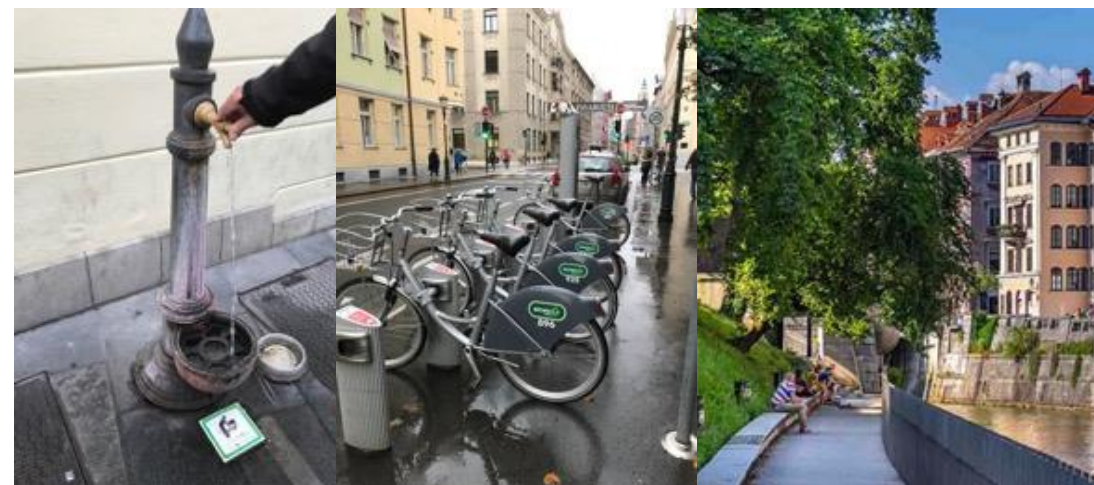


### 2012 Sustainable Mobility Plan

- 歩行者20%, 自転車40%、バス50%増、車20%減

#### 【施策】

- 中心部：車禁止(900~1600)
- 街路樹 (鳥、動物)
- サイクリングルート220km
- 360レンタサイクル ; 36サイクルステーション
- 電気タクシー (無料、乗り降り自由)
- 飲料水ステーション



<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankou/mannerruleshead.html>

# AKISAMIYO Tour

- 世界遺産(2021)：生物多様性の豊かさ、独特な自然環境 亜熱帯照葉樹林（亜熱帯海洋気候）
- 林業（やんばる型森林業）、炭、藍染「山は祖先が築いた公共の遺産」
- 生息数減少の危惧（盗掘・密猟・過剰な採取、ロードキル、外来種（マングースなど）、野ネコ、野犬、ゴミの不法投棄）
- 環境モニタリング調査(2011～)：地域住民（林業関係者など：林道パトロール）+環境省
- 魅力への気づき（静寂さ、ホタル、カエルの声など 星空など5感で感じることができる～観光商品化へ

## 《サステナビリティの魅力》

- 保全への貢献（GPS記録、調査票への記入、データ：保全に活用）
- トラップなどの記録、通報
- ゴミの持ち帰り
- 生態系への配慮（詳細は現地で、ガイド説明、持ち込み制限、写真撮影、スピード制限・徒歩）



# 水保全・連携



## 入湯手形について

About the Onsen-Hopping pass

黒川温泉の各旅館、または旅館組合「風の会」で販売しています(1枚/1,300円)。入湯手形があれば、黒川温泉の旅館28か所の露天風呂の中から、1枚の手形につき好きな露天風呂を3か所選んで入浴できます。購入した手形を旅館の記念として持ち帰る方もおられますし、温泉街にある「地蔵堂」に奉納して願掛けする方もいらっしゃいます。

The Onsen-Hopping pass is available at every ryokan, or at the Ryokan Association office known as "Kaze no Ya" (1,300 yen per pass). With the purchase of one pass, guests can enjoy 3 different outdoor baths from the 28 ryokans. While some may decide to bring it home as a souvenir of their stay, others may use it to offer at the Jizo temple in the Kurokawa.



## 地域経済に還元される入湯手形

The pass provides financial returns to the local economy

入湯手形の製作(織印や縫通し、シール貼りなど)は「三貴会」と呼ばれる地域の老人会に依頼。一時期は「日本一輝く老人会」と呼ばれ話題になりました。また手形には、黒小国町のブランド杉「小国杉」の隈伏材を活用。入湯手形の仕込みが地域経済に還元されているのです。

The elderly association known as "Sanyukai" are commissioned to produce the Onsen-Hopping pass (fire-branding, threading, and adding stickers). At one point in time, the group was known as "the elderly association with the Japan's highest earnings". The material used to create the pass is an upcycled local cedar from Misamiogawa known as "ogunishi"; a byproduct of forest thinning. The revenue from the creation of the pass provides not only financial returns to the region's economy, but to be aware of environment.

## 入湯手形の販売推移

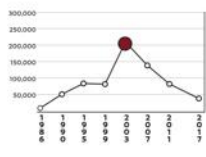
販売累計:約300万枚

Sales

Cumulative Sales: Approximately 3 million passes

入湯手形は1986年の販売以来、毎年売り上げを伸ばし旅館組合の大きな収益の柱となってきました。2003年のピーク時にはオーバーツーリズムの影響が見受けられたため、一時期は販売制限をかけるほど。販売開始から30年以上経つ今でも、黒川温泉を支える大切な収益源です。

Sales have increased annually since sales of the pass began in 1986, to the point that the Association has stated that the Onsen-Hopping pass is central to its revenue stream. At its peak in 2003, the threat of the harmful influences of overtourism even caused a temporary restriction in sales. Now, after over 30 years of selling the pass, it is an important income source that supports the local Kurokawa economy.



## 共同浴場 Shared Public Baths

黒川温泉には二つの共同浴場があり、地域で大切に管理運営しています。There are two public baths in the Kurokawa that are carefully maintained and operated locally.

### 地蔵湯

The Jizo Hot Spring

黒川温泉街の真ん中にある共同浴場。地蔵堂の向かいにあることからその名がついた黒川の元湯。黒川温泉発祥の湯、脱衣場と浴室が一体の趣のある作りで、質素な石造りの浴槽が二つあります。入浴料は200円(入湯手形の対象外)。

In the center of the Kurokawa, there is a public, communal bath called "Jizo Hot Spring" its location across from the Jizo Temple. This public bath is placed at the original source of the Kurokawa hot springs. The dressing room and the bathing area are housed together, and there are two modest stone bathing areas. The entrance fee is 200 yen (The pass do not apply).



### 穴湯

The Ana Hot Spring

黒川温泉を流れる田の原川の岸にあり、木と竹を組み上げた壁と瓦屋根の昔ながらの風情ある道の温泉です。管理人は必ず入口の料金箱に自分で入浴料を入れて入浴します。入浴料は大人100円/子供50円(入湯手形の対象外)。

At the bank of "Tanoharugawa" of Kurokawa Onsen, the walls and tiled roofs are made of wood and bamboo, creating an intermingling sense of an elegant, simpler time. There are no caretakers at this bath, so one simply pays the entry fee at the cash box by the entrance before taking a bath. The entrance fee is 100 yen for adults and 50 yen for children (The pass do not apply).

## 黒川温泉一旅館ならではの「転泊」

"Rotational Stays," thanks to our guiding principle of "Kurokawa Onsen, as one"

黒川温泉に宿泊するお客さまに好評なのが「転泊」。温泉や食事、観光など、好みの選び方で1泊ごとに宿を変えて黒川温泉を満喫できるサービスで、宿同士が互いに協力し合える「黒川温泉一旅館」だからこそこの選り方です。転泊の際にはお客さまが荷物を運ぶ必要はなく、またアレルギーマッチの荷入れ、なるべく同じメニューを避けるなど旅館間で情報を共有します。

The most popular among visitors are the "Rotational Stays." Since all of the lodgings work cooperatively, visitors can change where they stay every night to select a different onsen, cuisine, or facility to make the most of Kurokawa Onsen's services. When the guest needs to move to another room, there is no need to bring bag. Information is shared between the ryokans regarding baggage, guest's allergies or a request for a change in menu.



## 共同看板の設置

Establishing Cooperative Signboard

黒川温泉全体が一つの旅館のように、という「黒川温泉一旅館」の理念に基づいて、以前は乱立していた大きく異なる看板をすべて撤去し、デザインを統一した「共同看板」を設置しています。また川沿いの白いガードレールを撤去し、手すりや橋の欄干は黒を基調とした色味で統一。さらにブロック壁を禁止し、垣根や橋なども極力低くすることで、地域全体で自然と調和した落ち着いた雰囲気を醸し出しています。

With the foundational principle of "Kurokawa Onsen, as one," all of the billboards were removed, and signboard with a unified design were applied. The white guard rails along the river were removed, and handrails and bridge guardrails were replaced to a unified base tone of black. In addition, concrete block walls were prohibited, and fences and hedges were required to maintain a height that was as low as possible to engender a sense of balance with the surrounding natural environment.



## 共通雪駄・共通傘

Communal Sandals and Umbrellas

黒川温泉では、お客さまに自由に借りて帰る楽しんでもらえるように、どの旅館も共通の雪駄と傘を使用しています(日帰り客もレンタルで利用可)。雪駄、傘は約500足、傘は約1000本が温泉街に流通しています。黒川温泉全体が一つの旅館なのだから、同じ雪駄を履いて同じ傘をさす。それもまた「黒川温泉一旅館」ならではの姿です。

In order to allow guests to feel free to fully enjoy the onsen at their leisure, all of the sandals and umbrellas are communally shared throughout the ryokans. (Day visitors may rent them for the day). There are always approximately 500 pairs of sandals and 1000 umbrellas circulating throughout the Kurokawa. The warmth of "Kurokawa Onsen, as one" provides friendly, relaxed atmosphere.

- 川の水保全
- 露天～石鹸等禁止
- よもぎ石鹸、シャンプー等
- 植林
- コンポスト

## 保全

- 転泊
- 共通雪駄、傘
- 標識:黒に白字～標識200を撤去)
- 景観(橋の色など)

## 統一

- 温泉手形- 地元老人会 (収入)
- 記念品
- オーバーツー対策～団体購入不可、宿泊客優先)

## 連携

# 黒川温泉

黒川一旅館

松本  
文化建築の活用  
ホテル、芸術祭  
湧水ツアー



# 観光の学びの推進：サステナブルな宿をハブとする高付加価値な観光地域づくり

- 事前調査（高付加価値、宿場町、長野県）
- 高付加価値（持続可能性、地域貢献、歴史・文化の理解）
- 現地活動
  - Survey 123を活用したマップづくり
  - 聞き取り調査（地域の歴史、精神文化、文化財）
  - E-bikeによる街道体験
  - 地域の食文化（料理教室）
  - 持続可能なホテル認証（Green Key, EarthCheckなど）
- 連携：Satoyama Villa 本陣（扉ホールディングス）



# 水循環のホテル



A retreat nestled by a clear Japanese lake

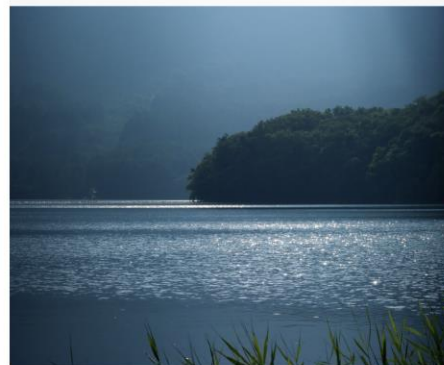
この地を唯一無二の存在にしているのが「水」。

湖底から湧き出す水は一年を通じて澄み渡り、県内屈指の透明度を誇ります。

光に揺れ煌めく水面、水鏡にたたえる山並みや森の樹々。

湖面は自然が描く一枚の絵画のよう。

その姿を見つめるだけで心が洗われ、深い安らぎとともにやがて、静かに心が満ちていく……。



私たちは、この奇跡のような水や自然の美しさを未来へ伝えるために、この地にヴィラをつくりました。名前は「SUI」。

時と共に移り変わる水面や木々の姿、その青翠の美しさは、北アルプスの贈り物、「翡翠」にも通じることから名付けています。

プライベート感溢れる上質な空間で、美しい自然がもたらすエネルギーをチャージ。心満たされる滞在をぜひお過ごし下さい。



<https://www.tobira-group.com/sui/>



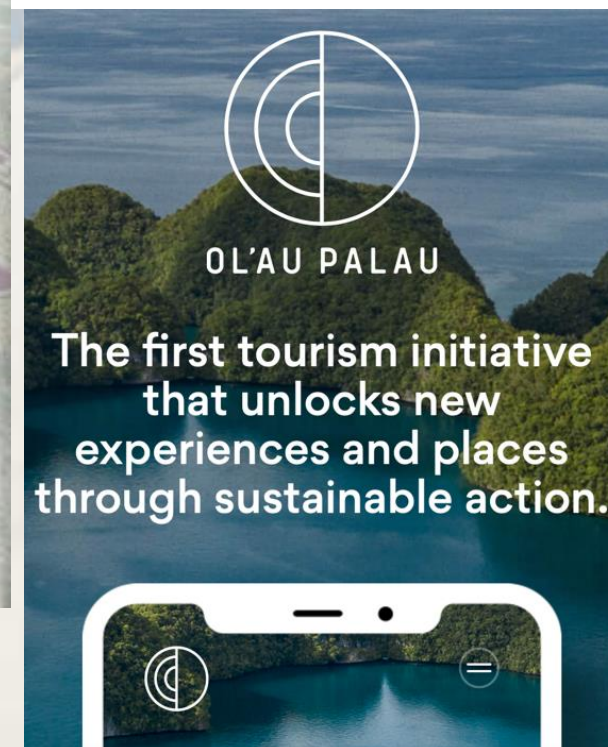
観光推進の意義

*Promoting tourism –  
core value*

- 地域ビジョン
- 域内連携
- 責任とコミット
- システム・方策
- 見える化

*We are inviting you to you to access our most treasured natural and cultural wonders not according to how much you spend, but how gently and respectfully you treat our island home.*

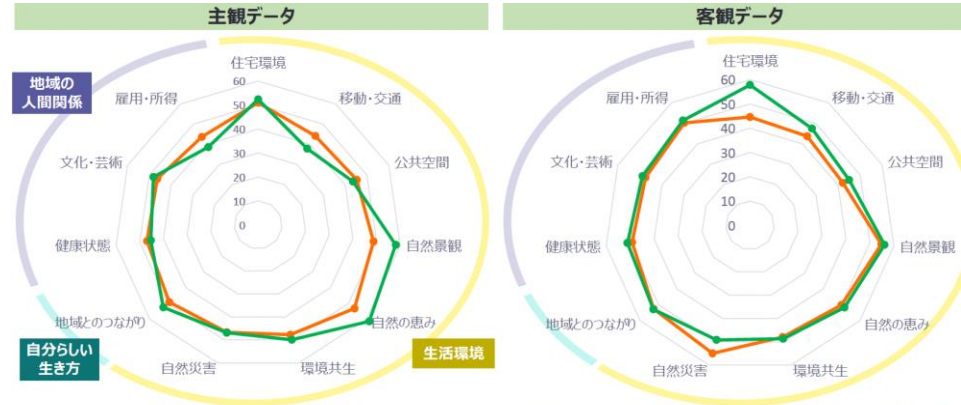
観光は重要ですが、環境・社会へのダメージにつながることもあります。ですから、地域の自然や文化という宝へは、皆さんが払う金額ではなく、地域の環境や文化をいかに大切にしてもらえるかによってアクセスしていただきます。



# 《観光地域ウェルビーイング 評価～リジェネラティブな観光活動評価

<b>評価項目</b>
<b>雇用 所得</b>
域内連携・連携、伝統産業の維持、地域還元、地域雇用・伝統産業
<b>住環境・移動交通</b>
インフラ（観光・日常）：アクセシビリティと持続可能性の担保
<b>文化芸術 健康状態 景観 自然の恵み 環境共生 災害</b>
観光フットプリント 保全活動（調査やクリーン参加、藻場整備・植林） 伝統知識・技術、神事祭事の復活・継承 自主ルール・保全活動 環境教育（地域生態系、文化・伝統・神事祭事） 経済的貢献（協力金、保全還元） 来訪者満足度（生態系回復への貢献度、レポート率）・住民コミット度（特性、誇り、継承） 人材育成（意欲ある人材の増大）
<b>公共空間 地域とのつながり</b>
社会的包摂の促進と文化遺産・伝統文化の保全における観光の貢献度（経済、プロモーション）
<b>観光活動</b>
保全活動、学び～来訪者満足度、地域住民の関わり～自己変革を起こし記憶に残る体験

(OECD, デジタル庁、Wealth&Wellbeing指標、QOL指標等参照)



凡例 国立公園含まない市町村：— 国立公園を含む市町村：—  
 ※1：市民の「暮らしやすさ」「幸福度」を示したもの ※国立公園を含む市町村は、全408市町村。その内、2024年Wellbeing調査実施市町村かつ大都市以外は、126市町村





Love your place Share it with the world

# Footprint → Handprint

マイナス（負荷）からプラス（貢献）



<https://www.cscp.org/our-work/handprint/>

<https://www.handprint.fi>

<https://go-positive.co.uk/what-is-a-carbon-handprint>

Vongariyajit, N., & Kantabutra, S. (2021). A test of the sustainability vision theory. Is it practical? Sustainability, 13(2), 88-93.

Casey, D., & Sieber, S. (2016). Employer, sustainability and motivation : increasing employee engagement by ad

Mortimer, F. et al (2018). Sustainability as quality management. Future Healthcare Journal, 5(2), 88-93



Social action  
社会変革の力

## 《サステナビリティ推進》

スタッフモチベーションを高める

- 社会的に有意義、高評価を受ける課題への取組
- 誇り、満足感
- 多様な改善、効率化、向上 - 前向きな姿勢
- 継続した学びや成長への機会
- 平等、多様性、WLBの尊重

## 《事業者・訪問地域》

- プラスのオプションを増やす
- 積極的な貢献を支援
- 基盤作り、責任所在を明確に
- より充実・安全・楽しい・思い出に残る体験 = エシカルビジネス、地域還元
- 責任ある観光、観光ビジネス、観光地域 = 好循環づくり



[kumikato@wakayama-u.ac.jp](mailto:kumikato@wakayama-u.ac.jp)